

東京都産業教育振興会主催

# 講 演 会

演 題 「令和の日本型学校教育の構築」

講 師 奈須 正裕 氏

上智大学総合人間科学部教育学科教授

中央教育審議会教育課程部会委員

○日時 令和4年6月28日（火）

15時—16時30分

○会場 全商会館

東京都新宿区大京町26番地

TEL 03（3357）7911

○方法 ハイブリット開催

対面開催及びWebexによるオンライン開催

○講演内容

今年度から、高校で新しい教育課程が全面実施になっています。そこでは「総合的な探究の時間」や「理数探究」など、教科の枠組みを超えた生徒主体の探究的な学びが展開される一方、在来の教科についても、論理的で説得的な文章の読み書きが自在にできるようになることを目指す「論理国語」、デジタル地図を駆使し、SDGsや防災なども視野に入れた立体的な学びに取り組む「地理総合」など、学力論の大幅な質的転換が図られています。また、これと呼応して大学入学者選抜のあり方にも劇的な変化が生じており、さらに普通科高校改革も視野に入ってきました。

加えて、2021年1月、中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」という考え方を打ち出します。従来の「日本型学校教育」には様々な美点があるのですが、その一方で



「正解主義」や「同調圧力」といった深刻な問題をも抱えており、子どもたちをして、他人の顔色ばかりうかがう、自分の考えが持てない指示待ち人間にしてきました。

イノベーションへの挑戦がすべての人に求められる現代社会では、正解ではなく、多様な他者と協働して、その都度の最適解や納得解を粘り強く希求する力が不可欠であり、学校教育も大きく変貌する必要があります。「令和の日本型学校教育」では、すべての子どもが自立した学習者となり、人生をたくましく切り拓いていける資質・能力の育成を目指して、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図っていきます。

このような動きは何を意味するのか。それらはどこからやって来たのか。今後の見通しや残された課題は何か。今回の講演では、学習指導要領改訂に込められたもの、さらに「令和の日本型学校教育」が目指すものについて、お話したいと思います。

## ○奈須 正裕 氏 プロフィール

上智大学総合人間科学部教育学科教授 中央教育審議会教育課程部会委員

徳島大学教育学部卒、東京学芸大学大学院、東京大学大学院修了。博士（教育学）。

専門は教育心理学、教育方法学。主な著書に『個別最適な学びの足場を組む』（教育開発研究所）、『「資質・能力」と学びのメカニズム』（東洋館出版社）、『次代の学びを創る知恵とワザ』（ぎょうせい）等がある。

## ○参加申込

\*6月17日（金）までに①所属②職③氏名④メールアドレス⑤参加方法（対面又はオンライン）を記入して、下記の申込先にメールでお申込みください。

\*参加決定者には、後日、案内図又はオンライン会議の招待メールをお送りします。

## ○申込先

東京都産業教育振興会事務局 担当 花野

メールアドレス：Kouichi\_Hanano@member.metro.tokyo.jp

問い合わせ：東京都産業教育振興会事務局

電話：03-5320-6729